

エコアクション21

2023年度版 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日)



代表取締役	環境保全関係責任者
森田 明	森田 智子

2024年4月28日

有限会社 森田清掃

目次

ページ

1. 組織の概要	1
2. 環境経営方針	3
3. エコアクション21実施体制	4
4. 過去の環境への負荷の推移	5
5. 環境経営目標	6
6. 環境経営計画	7
7. 環境経営目標の実績とその評価	8
8. 環境経営計画の取組み結果と評価及び 次年度の取組内容	...	9
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟など等の有		10
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示		11

1、組織の概要

- 1) 事業所名及び代表者名
有限会社 森田清掃
代表取締役 森田 明
- 2) 環境に関わる責任者
環境保全関係責任者 森田 智子
- 3) 所在地及び電話番号
本社 : ☎ : 851-0407 長崎県長崎市川原町312番地
宮崎事業所 : ☎ : 851-0408 長崎県長崎市宮崎町795-5
TEL : 095-892-2350 FAX : 095-892-2300
Eメール : xhjs136@yahoo.co.jp
- 4) 法人創立年月日及び資本金
創立年月日 : 1973年9月2日
資本金 : 300万円
- 5) 事業の内容
一般廃棄物の収集及び運搬
長崎市より一般廃棄物受託業務
- 6) 事業の規模

年度は4月～翌年3月とします。

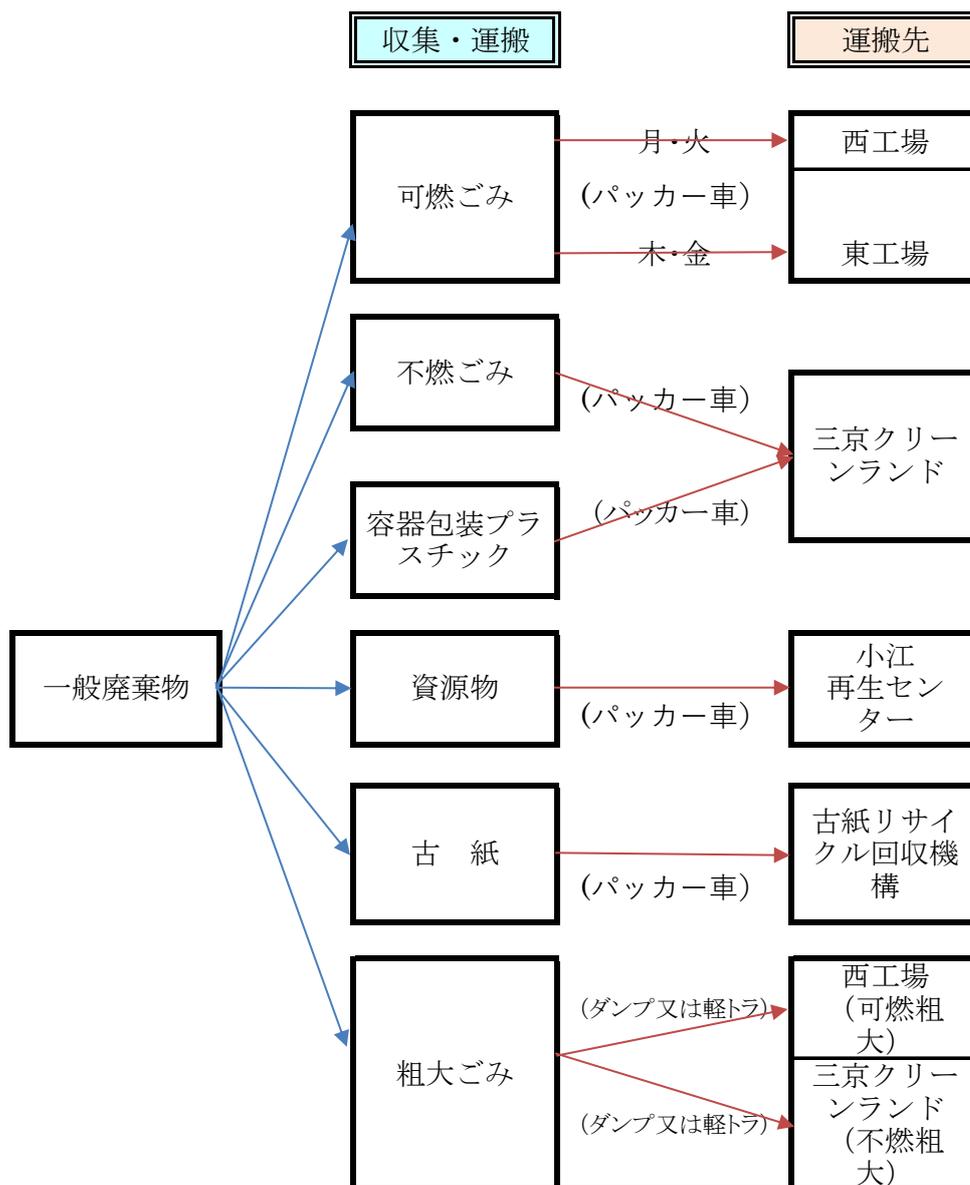
活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
廃棄物運搬量	ton	2,323	2,281	2,123
従業員数	人	10	10	10
事務所・倉庫 延べ床面積	m ²	232	232	232
土地面積	m ²	685	685	685

- 7) 施設の状況
積み替え・保管の施設は有しない

保有車両	2tパッカー車	3tパッカー車	2tダンプ	軽トラック
台数	1台	4台	1台	2台

- 8) 認証・登録の対象範囲（当社は全組織、全活動を対象範囲としています。）
登録組織名 : 有限会社森田清掃 本社、宮崎事業所
活動 : 一般廃棄物収集運搬委託事業
- 9) 許可の内容
長崎市一般廃棄物収集運搬業許可証
許可番号 : 長崎市 第245号
許可年月日 : 平成24年12月5日
有効年月日 : 令和6年12月4日
事業区分 : 収集運搬業(積み替え、保管行為を含まない)
- 10) 環境経営レポートの対象期間
2023年4月1日～2024年3月31日
- 11) 廃棄物受託先
長崎市受託以外の廃棄物は取り扱っておりません。

12) 廃棄物処理フロー



収集日

可燃ごみ	月曜日・火曜日・木曜日・金曜日
不燃ごみ	水曜・木曜
プラスチック	水曜・木曜
資源物	水曜・木曜
古紙	月曜・火曜
粗大ごみ	随時

2. 環境経営方針

1. 基本理念

有限会社森田清掃は、事業活動を行う上で環境の保全を経営の重要課題のひとつとして認識し、当社の事業活動が環境に与える環境負荷を把握し、地球環境及び地域環境に配慮した、自主的かつ積極的に持続可能な社会の構築に貢献します。

また、当社は、事業活動を通じて、地域の環境美化の保全及び向上に努め、良き企業市民として、地域住民から信頼される企業になれるよう積極的に活動します。

この実現のため、以下の環境経営方針を定め、その方針に基づいて社員一丸となって環境の保全及び継続的改善に努めます。

2. 環境経営方針

(1) 省資源・省エネルギー活動の推進

事業活動における電力・紙・水等の資源、石油等化石エネルギーの使用量の節減等、環境負荷の低減に努めます。

(2) 省エネ活動によるCO2削減の推進

- ・エコドライブ等による燃料の削減
 - *アイドリングストップ及び収集ルート効率化、また各個人の運転技術の向上を図ることにより総燃料量の消費を減らしCO₂の排出を削減します。
- ・電力量の削減
 - *事務所内での徹底した節電の意識を持ってCO₂の排出削減を図ります。

(3) 廃棄物の削減・分別・処理、リサイクル活動の推進

事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をし、廃棄物については徹底的に分別することによりリサイクルを進めていく。

(4) グリーン購入の推進

事務用品については100%エコマーク商品の使用を基本としグリーン購入を徹底する。作業服については、できるだけエコマーク商品とする。

(5) 事業活動に伴う環境配慮

- *事業用車両の更新時には積極的に低公害車を導入する。
- *適正な車両整備による排気ガスや騒音レベルの低減。

(6) 環境関連法規の遵守

環境関連の諸法規及び条例等を遵守します。

(7) 継続的環境改善の実施

環境保全に関する目的・目標を設定し、取組結果を点検・評価することにより、さらに継続的な環境改善につなげていきます。

(8) 情報提供と地域の環境活動・施策への協力

環境経営活動レポートを公表するなど、社内外に対して環境に関する情報の提供を行うと共に地域社会の一員として地域の環境活動並びに青少年育成活動に自主的に参加協力し、また、社周辺の道路及び川の清掃や草刈りを定期的に行います。

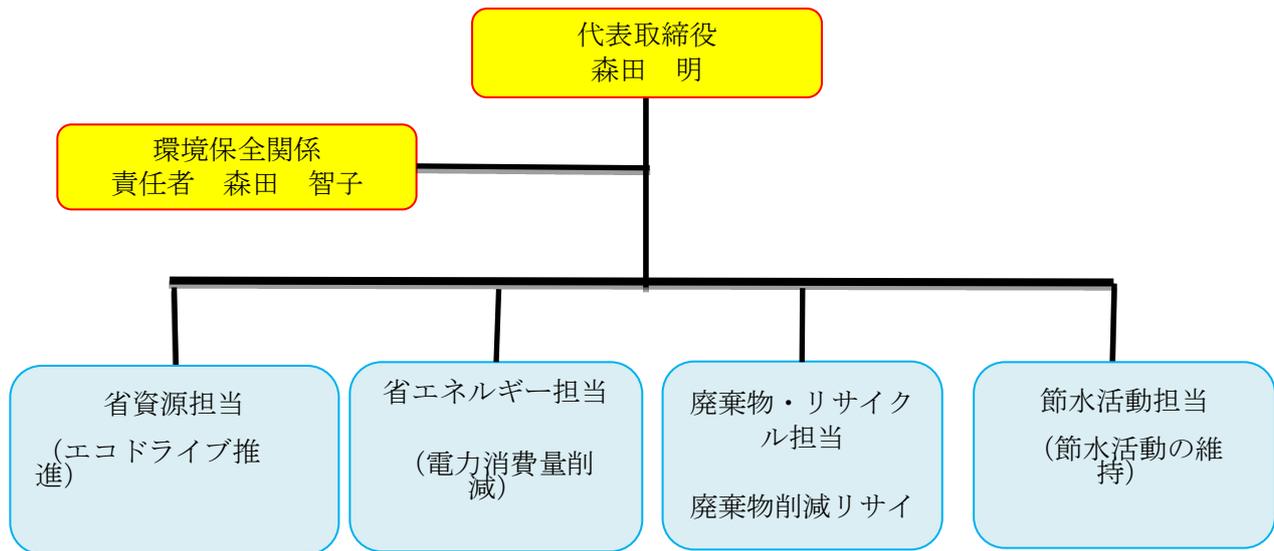
以上、環境経営方針書については全ての従業員に対し周知し徹底を図る。

2020年4月10日改定

有限会社 森田清掃

代表取締役 森田 明

3, エコアクション21実施体制



役割、責任、権限

ア、代表者(代表取締役)

- ①環境経営方針を決定する。
- ②環境経営目標及び環境経営計画を承認する。
- ③環境保全関係責任者を任命する。
- ④エコアクション21環境経営システムを実施するために、各自の役割、責任及び権限を定め、全員に周知する。
- ⑤エコアクション21を適切に実行するため、必要な教育・訓練を実施する。
- ⑥環境上の緊急事態を想定し、その対応策を定め、定期的な訓練を実施する
- ⑦環境経営システムの構築及び運用、環境経営目標及び環境経営計画の実施に必要な資源(人的・物的・財務的資源)を用意する。
- ⑧毎年3月に環境経営システム及び環境経営方針の見直しを行う。

イ、環境保全関係責任者

- ①環境経営システムに関する記録を管理・保存する。
- ②環境負荷と環境への取組状況の取りまとめを行う。
- ③環境関連法規、条例及びその他の規制を整理し、取りまとめる。
- ④環境経営目標及び環境経営計画を策定する。
- ⑤外部からの環境に関する苦情や要望を受け、必要な対応を行う。
- ⑥環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況、環境関連法規等の遵守状況を定期的に確認・評価する。
- ⑦環境経営目標の達成及び、環境経営計画の実施状況に問題がある場合は、是正措置を行い、必要に応じて予防措置を実施する。
- ⑧全社の教育・訓練を実施する

ウ、担当者、従業員

- ①環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する
- ②自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する
- ③自社に関連する法規制等を順守する
- ④自社に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
- ⑤環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する

4, 過去の環境への負荷の推移

当社の過去の環境への負荷は次のとおりです。

年度は4月～翌年3月とします。

	項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
全社	総CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	50,535	50,793	50,950
	対2009年度比 (58,813kg-CO ₂)	kg-CO ₂	85.9%	86.4%	86.6%
事務所	購入電力*	kg-CO ₂	2,376	2,209	2,158
	灯油	kg-CO ₂	0	0	0
	事務所内の CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,376	2,209	2,158
自動車	自動車用ガソリン	kg-CO ₂	3,640	3,249	3,653
	自動車用軽油	kg-CO ₂	44,519	45,335	45,139
	自動車燃料の CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	48,159	48,584	48,792

※購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力、2017年度調整後排出係数 0.463kg-CO₂/kWhを使用

	項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
事務所の 環境負荷	購入電力	kWh	5,132	4,772	4,661
	灯油	ℓ	0	0	0
自動車 用燃料 消費量	軽油消費量	ℓ	17,256	17,572	17,496
	ガソリン消費量	ℓ	1,569	1,400	1,574
	自動車用燃料 合計	ℓ	18,825	18,972	19,070
	運搬量当り自動車燃 料消費量	ℓ/ton	8.10	8.32	8.98
	1台当り (8台)	ℓ/台	2,353	2,372	2,384
その他 の指数	水使用量	m ³	42	33	40
	従業員当り(10人)	m ³ /人	5.3	3.3	4.0
	一般廃棄物排出量 (総量)	kg	116	119	151
	従業員当り(10人)	kg/人	14.5	11.9	15.1
	紙使用量	kg	33	33	39.5
	従業員当り(10人)	kg/人	4.125	3.3	3.95

備考: 当社は化学物質の使用はありません。

5, 環境経営目標(2022年度～2024年度)

第5期1期(3ヵ年)環境経営目標及び単年度目標を次のように設定
基準値は2021年度を参考として基準値を作成しています

1)省エネルギー活動

項目		単位	基準値(2021年度)	2022年度 (△1%)	2023年度 (△2%)	2024年度 (△3%)
全社二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	50,537	50,031	49,526	49,021
事務所の 環境負荷	電力使用量	kWh	5,132	5,081	5,029	4,978
	①電力CO ₂ 排出量*	kg-CO ₂	2,376	2,352	2,329	2,305
	灯油使用量	ℓ	0	0	0	0
	②灯油のCO ₂ 排出量	kg-CO ₂	0	0	0	0
	①②の合計CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,376	2,352	2,329	2,305

〔九州電力2017年度調整後排出係数〕 0.463 kg-CO₂/kWhを使用。

2)エコドライブ活動

項目	単位	基準値(2021年度)	2022年度 (△1%)	2023年度 (△2%)	2024年度 (△3%)
軽油消費量	ℓ	17,256	17,083	16,911	16,738
ガソリン消費量	ℓ	1,569	1,553	1,538	1,522
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	48,161	47,679	47,197	46,716
10当り走行距離(軽油車両)	k m/ℓ	5.6	基準値を維持	基準値を維持	基準値を維持

3) 節水活動の維持

項目	単位	基準値(2021年度)	2022年度 (△1%)	2023年度 (△2%)	2024年度 (△3%)
上水使用量	m ³	42	基準値を維持	基準値を維持	基準値を維持

4)一般廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

項目	単位	基準値(2021年度)	2022年度 (△1%)	2023年度 (△2%)	2024年度 (△3%)
一般廃棄物排出量(総量)	kg	120	基準値を維持	基準値を維持	基準値を維持
リサイクル率	%	62	基準値を維持	基準値を維持	基準値を維持

5) グリーン購入比率の向上

環境配慮商品項目	2022年度	2023年度	2024年度
作業服(ペットボトル再生)	購入時には必ず再生品の購入	購入時には必ず再生品の購入	購入時には必ず再生品の購入
事務用品(再生紙・ボールペン・ファイル)	3品目	3品目	3品目

6) 事業活動にともなう環境配慮

- *事業用車両を新規に購入するときは、環境に配慮した低公害車を導入する。
- *適正な車両整備による排気ガスや騒音レベルの低減

7) 地域の環境活動(自治会活動等)への積極的な参加

地域自治体の活動及び育成会活動に社員の積極的活動を支援する。

項目	2022年度	2023年度	2024年度
自治会活動への参加(海浜清掃等)	8回	8回	8回

備考:当社は化学物質の使用はありません。

6, 環境経営計画(2022年度～2024年度)

環境経営目標の取組内容と責任者

取組項目	目標達成年度	取組内容	担当者	責任者
1,電力消費量削減(灯油削減含む)	2023年度	① 昼休み、不在時の照明の消灯の励行。 ② 未使用時のパソコンの電源をoffにする。 ③ 室内空調は、夏季は26~28℃に、冬季は20℃に設定する ④ コピー・パソコン・プリンター等のOA機器については不使用时にはコンセントを抜く。 ⑤ 日射の室内への導入や通風の取込み等自然のエネルギーを使う。 ⑥ 定期的な機器の点検整備	省エネルギー担当	環境保全関係責任者 森田智子
2,エコドライブの推進		① 効率的な収集ルートの設定。 ② 社用車の効率的な運転の推進。 ③ アイドリングストップの励行。 ④ 定期的な車両整備の励行。 ⑤ 走行距離と供給燃料量を記録する。	省資源担当	
3,節水活動の維持		① 水道の蛇口を調整して必要以上に使いすぎない。 ② 流しっぱなしにしない。 ③ 洗濯機の使用を当番制にして節水する。 ④ 洗車の時はバケツのため水の使用。	節水活動担当	
4,一般廃棄物の削減・リサイクル活動の推進		① 紙使用量削減による廃棄物量の削減。 ・両面コピーの徹底。 ・裏紙使用の徹底 ・ミス紙の裏面活用 ・使用済み封筒の再利用 ② ごみの徹底分別によるリサイクルの推進。 ③ 不要なものを持ち込まない。	廃棄物リサイクル担当	
5,グリーン購入の推進		① 再生ペット繊維作業服の購入の継続。 ② エコマーク事務用品の購入品目の拡大 ③ プリンターインクカートリッジの再生品をできるだけ使用する。	環境保全担当	
6,事業活動に伴う環境配慮		① 低公害事業用車両等の資料を定期的に取り寄せる。 ② 資料により車両各社の比較をし購入時には、より低公害のものを選ぶ。 ③ 適正な車両整備による排気ガスや騒音レベルの低減	代表者	
7,自治会活動への参加		① 自治会の年間計画等をカレンダーに印を付けておく。 ② 自治会の看板を定期的に確認する。 ③ 自治会回覧板を確認する。	代表者	

7、環境経営目標の実績とその評価

今年度の目標対実績は以下の通りです。

2023年度(2023.4~2024.3)

1) 省エネルギー活動 取組の評価 100%以上=○ 90%以上~100%未満=△ 90%未満=×

項目	単位	基準値 21年度実績	2023年目標 値 A (-2%)	2023年実績 B	増減 (B-A)	達成率% (A/B)	取組の評 価
全社二酸化炭素排出 量	kg-CO2	50,173	49,526	50,949	1,423	97.2	△
電力消費量	kWh	5,132	5,029	4,661	▲ 368	107.9	○
①電力CO ₂ 排出量*	kg-CO2	2,376	2,329	2,158	▲ 171		
灯油消費量	ℓ	0	0	0	0	-	○
②灯油CO ₂ 排出量	kg-CO2	0	0	0	0		
①②の合計CO ₂ 排出 量	kg-CO2	2,376	2,329	2,158	▲ 171		

*九州電力 2021年度調整後排出係数 0.463 kg-CO₂ /kWhを適用しています

2) エコドライブ活動

項目	単位	基準値	目標値 A	2023年実績 B	増減 (B-A)	達成率% (A/B)	取組の評 価
軽油消費量	ℓ	17,260	16,911	17,496	585	96.7	△
ガソリン消費量	ℓ	1,570	1,538	1,574	36	97.7	△
二酸化炭素排出量	kg-CO2	48,173	47,197	48,791	1594	96.7	△
10当り走行距離(軽油車 両)	km/ℓ	5.6	5.6	6.2	0.6	110.7	○

* 10当り走行距離の達成率は(B/A)とします。

3) 節水活動

項目	基準値	基準値	目標値 A	2023年実績 B	増減 (B-A)	達成率% (A/B)	取組の評 価
上水使用量	m ³	49	42	40	▲ 2	105.0	○

4) 一般廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

項目	単位	基準値	目標値 A	2023年実績 B	増減 (B-A)	達成率% (A/B)	取組の評 価
一般廃棄物排出量(総量)	kg	164	120	157.5	37.5	76.2	×
リサイクル率	%	62	62	60	▲ 2.0	96.8	△

5) グリーン購入比率の向上

項目	単位	基準値	目標値 A	2023年実績 B	増減 (B-A)	達成率% (A/B)	取組の評 価
作業服	着	購入時には再 生品を購入	購入時には再 生品を購入	—	—	—	—
事務用品	品目	3	3	3	3	100.0	○

6) 事業活動に伴う環境配慮

項目	取組の評価
車両を新規に購入するときは、環境に配慮した低公害車を導入する	購入し環境に配慮した車を購入した
適正な車両整備による排気ガスや騒音レベルの低減	適正な車両整備を行っている

7) 地域の環境活動(清掃活動等)への積極参加

項目	単位	基準値	目標値 A	2023年実績 B	増減 (B-A)	達成率% (A/B)	取組の評 価
自治会活動等の参加	回	8	8	8	0	100.0	○

8. 環境経営計画の取組み結果と評価及び次年度の取組み

環境経営計画の実績・取組結果とその評価はつぎのとおりです。

1) 省エネルギー活動

電気使用量については、夏場の猛暑の7月から10月までと、冬場1月2月のエアコンの使用によってその期間内は量が増加している。これについては特に夏場は外での仕事なので熱中症対策の為どうしても仕方がないのですが、その中においても誰もいてない時間には少し温度を上げたり下げたり取り組みはしていたりしています。本年度も、その使用量は削減することができた。次年度も気を抜くことなしに継続していきたい。

2) エコドライブ活動

弊社のエコアクションの取組みにおいて最も気を遣う取り組みはエコドライブの燃料費の削減であるが今年度も目標値を500ℓ増加した搬入先変更によるものと考えられる毎年、全員がルートの見直しや、エンジンの回転数を上げない運転等に取り組み一定の努力はしているものと思う。今後も取り組み改善を確認した。

3) 節水活動

節水活動については、前年度より少し増加したが、全員が洗車等についても全体を洗車する場合は井戸水の使用し、拭き上げについてはバケツに組んだ水を使っている。節水についての意識は高く持っている。

4) 廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

今年度、マイボトルの使用と事務所内に置かれたサーバーを利用したりしていたが、夏場の暑さで自販機の飲み物等が増え重量は増えてしまったが、洗って、ラベル等もはいで資源としてのリサイクルに回すことができた。

5) グリーン購入

グリーン購入については、充分に取り組み結果が出ている。
今後もグリーン購入を継続して推進していく。

6) 事業活動に伴う環境配慮

車両の整備等は確実になされている。

7) 地域の環境活動への積極参加

海岸清掃参加は今回、今年度も役員として全会参加できた。
海岸も台風のゴミとかも寄ってきたがきれいにする事ができた。

9、環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1) 対象となる主な環境関連法法令リスト

法令の名称	条文	法令等の遵守すべき内容	違反の有無
道路運送車両法	第47・48・49条	道路運送車両の点検及び整備	無
	第57条	過積載	無
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第2条の四	国民の責務	無
	第3条	事業者の責務	無
	第6条	一般廃棄物処理業の許可	無
	第6条の二	一般廃棄物収集運搬の委託基準	無
	第7条	一般廃棄物処理業の許可	無
	第7条2	許可の更新	無
	第11条	事業者の処理	無
改正フロン排出抑制法 第16条（業務用エアコン）	簡易点検及び記録の保存	業務用エアコン等：3か月に1回以上点検、記録の保管（7.5KW以上の該当機器なし）	無
	フロン漏洩の処置	漏洩発見時、適切な専門業者に機器の修理、フロン類充填のいらい、記録の保管	漏洩無
長崎県環境基本条例	第8条4項	環境への負荷の低減	無
	第16条	資源の循環利用・廃棄物の減量	無
長崎市環境基本条例	第3条	基本理念	無
	第5条	事業者の責務	無
	第20条	事業者の環境管理に関する取組の促進	無
長崎市廃棄物の減量及び適正処理に関する規則	第17条	一般廃棄物収集運搬の許可	無

2) 違反・訴訟等

上記の法令リストの遵守事項について最新の情報にて確認した結果違反はありませんでした。また、関係当局による違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間受けておりません。

2024年4月22日
環境保全関係責任者
森田 智子

10, 代表者による全体の評価と見直し・指示

- ◇ 今年度の弊社のエコアクション21の取り組みを振り返ってみてみると、2009年度の総CO₂排出量と比較して800kg-CO₂程減らすことができているが本年度の目標値としている数値には届いてない。全体として節電、節水等、特に節燃料の方法が各従業員が確実に励行されているが、全体の数値も見ながら今まで培ってきた技術をさらに磨きをかけて、来年度においても各自の取り組みの中で気づいたところは全体で議論し改善して、更なる総CO₂の削減につなげて行きたい。

2024年4月22日

有限会社 森田清掃

代表取締役 森田 明